

# 集団討論の対策

## 1) 集団討論を知る

日本では、学校教育の中で「討論」ということについてきちんとその方法論を学ぶ機会はほとんどない。そこで、「集団討論」とは一体どういうものなのか、それをさせることで試験官は何を見ようとしているのか、求められている力は一体何かなどを講義し、その方法論を示す。

## 2) 実践練習を行う

理論を踏まえうえて、実践練習をする。

実践を踏みながら、「自分の頭で考える力」を養成し、他者と協働で問題を解決するスキルを身につけられるよう、指導する。

# 官庁訪問の対策

## 1) 情報を得る

国家公務員（総合職・一般職）では、官庁訪問という特殊な制度がある。人事院の実施する公務員試験に合格しなければならないことは当然だが、それとは全く別に、官庁で面接を受けて（これが「官庁訪問」と呼ばれる）、それをパスして内定をもらわなければ採用されない仕組みになっている。

官庁訪問自体は、日時や応募方法が決まっているものではないため、その年により状況が違う。また、情報戦のようなどころもあり、的確なアドバイスが最も必要になるところだ。もちろん、塾が完全サポートする。

# 問われるのは人物

——日々の努力の中で自分自身を高めることこそ重要——

塾長

## 喜治賢次



面接試験は人物試験です。そこで見られているのは「人物」です。当たり前ですが、一度や二度の面接練習をしたからといって「人物」がどうなるものではありません。

「人物」というものは、本当は、日々の生活の中で養われるものです。

人々の幸せや暮らしやすさを追求する公務員を目指している以上、社会のあらゆることに関心を持ってもらいたいし、現状を打破できるような柔軟な思考ができるようになってほしい。そして、ちょっとやそっとの困難にめげないタフさを持ってほしいと思います。現代社会の様々な難題を切り開くことのできる力をもった人物にこそ、公務員になってほしいではありませんか。現にそういう人が求められているのです。

これから始める公務員試験の勉強は、そういう人物になっていくための格好の練習材料です。教養・専門を問わず様々な勉強をすることで、知識が広がり、幅広い視野が持てるようになるのです。知識が増えてくると、自分自身の世界が広がり、興味と関心が広がってくるものです。そんな中で旺盛な好奇心、鋭い時代感覚が養われるはず。知識を得、様々な考え、過去の事実を知ればこそ、物事を一面的に捉えるのではない幅広い視野を持てるようになるのです。幅広い視野で考察を加えていくことが、柔軟な発想、豊かな創造力を生み出します。そして何より、これほどまでに科目の多い公務員試験に真剣に取り組むこと自体、めげずに頑張り続けるタフさを養成することでしょう。

公務員試験に向けて全力を尽くすこと自体が、求められる公務員像に近づくことになることを知ってください。そして、一生懸命努力を積み重ねてください。5肢択一で正解が出せればそれでいいのではなく、公務員として行政の現場に出たときの準備勉強のつもりで取り組んでください。それが何よりの人物試験対策になるはず。必ずです。



★  
模擬面接は  
必ず受講できます！



ここに注目！

個別面接指導